【事業者向け】　放課後等デイサービス自己評価表

作成日　2022/11/24
事業所　札幌あけぼの園ドレミ♪

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	改善策
			数が多かった方に「○」をつけさせて頂いております。				
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○				１Fと２Fでフロアを分けたり、公園へ外出するなどして十分なスペースが確保できるように努めている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○				基準を満たした中で、利用児童の予定数を見て適切な人数の配置を行っている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○			歩行が不安定な児童には声掛けを行う、スタッフが付き添うなどして安全に配慮する。
業務改善	④	業務改善を進めるための、PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○			話し合った内容を朝のミーティングや職員会議などで広く共有していく。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				年に一度、放課後等デイサービス自己評価アンケートを実施し、各ご家庭の意向などを把握し改善に努めている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				ホームページに必ず掲載している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○			第三者機関は設けず、朝のミーティング、職員会議などを通して業務を評価し、改善に繋げている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○				定期的な法人全体の研修と職員会議の時間を使った短時間の研修を設けている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				保護者面談を行い、適切に計画書の作成を行っている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				法人内のフォーマット（アセスメントシート、ご利用者シート）を用いたアセスメントを行っている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○				お子さんから希望を聞いたり、職員がそれぞれアイデアを持ち寄ったりしながら、活動プログラムの立案を行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○				外出や工作、調理など様々なプログラムを組み合わせたり、季節のイベントを取り入れるなどして固定化しないように工夫している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○				来所する児童の特性に応じて活動を決めたり、長期休暇には遠出の外出・季節のイベントを取り入れるなどして、課題を設定している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				毎日必ず実施する集団プログラムと、お子さんの状況に応じて、実施するピアノ教室や学習支援などの個別療育を組み合わせながら、放課後等デイサービス計画を作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○				午前中にミーティングの時間を設けて、その日の送迎や役割分担、共有事項などを確認している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか		○			業務終了後に職員が気づいたことを伝え合っている。必要に応じて、翌日のミーティングや職員会議で情報共有や話し合いを行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				日々支援の記録を作成し、適宜支援の検証・改善に利用している。よりよい記録や支援の検証・改善の方法について、会議等で検討する。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				６ヶ月に１度の個別支援計画の見直しとともに、必要に応じてモニタリングを行うことで放課後等デイサービス計画の見直しを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○	○			自立支援活動、創作活動、余暇の提供など複数の活動を組み合わせて支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				基本的には児童発達支援管理責任者が対応している。必要に応じて施設長や職員が会議に同席することもある。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○				毎回学校からの引き渡し時に先生から必要な情報を聞いている。学校から問い合わせがあった時には積極的に情報の開示に努めている。
	㉒	医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○			該当のケースがあった場合は、対応できるよう協力医等と連絡体制を整えられるよう務める。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○			必要に応じて情報共有を行っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○			該当のケースがあった場合には、支援内容の情報を適宜提供する。
	㉕	児童発達支援センターや発達障碍者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○			ケースごとの相談などで連携を行っている。さらに研修への参加等を行い関係を深めていきたい。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会はあるか		○			近隣の公園などで遊ぶ際、地域の児童と交流する機会がある。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○			参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				LINEを活用したり、帰りの送迎時にもお子さんの様子を伝え、発達の状況や課題について共通理解を図っている。

携	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○			必要に応じて行っている。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				契約時に重要事項説明を行い、不明点があれば回答している。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				保護者から適宜相談を受けたり、お子さんへの対応について助言するなどの形で支援を行っている。
	㉜	父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○			コロナの感染状況を見つつ、保護者が参加できるイベントを企画したい。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				苦情があった場合は、すぐに管理者に報告する体制となっている。解決に向けて迅速に対応を行っている。
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				毎月必ずお便りを発行し、児童の様子や活動内容が分かるよう、保護者向けに発信している。
	㉟	個人情報に十分注意しているか	○				個人情報の分かる書類は鍵付きの書庫に保管している。お便り等に個人名は載せない、顔写真の掲載は保護者の許可を取ってから行うなどの配慮を行っている。
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				お子さんの特性に応じ、絵カードや写真、文字など複数の手段を組み合わせて、意思の疎通を図っている。
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○				コロナの感染状況を見つつ、地域の方が参加できるイベントを企画していきたい。
非常時等の対応	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○				各種緊急時マニュアルについて保護者への周知が十分でない面があるため、改善する。
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				定期的に必要な訓練を行っている。
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				年に２度以上虐待防止研修を行っている。
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○				該当のケースが想定される場合は適切な方法で対応する。
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○				該当のケースに対しては保護者と詳細に話し合っている。おやつや昼食提供時にアレルギーの恐れがある時は事前に保護者と相談し、メニューを決めている。
	㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				職員間でヒヤリハットの出来事について共有している。事例集の作成までは至っていないので、適宜事例集の作成を行っていく。

その他のご意見